

～高品質で美味しい「富富富」への総仕上げです！～

5/15 田植えの出穂期は 8/4 頃となりましたが、今年は田植時期によって出穂期は大きく幅があります。

また、出穂後10日間の平均気温が28℃以上で経過したため、玄米が胴割れしやすい体質になっています。

刈遅れや急激な乾燥を避け、胴割米の発生を防止しましょう。

表 「富富富」の生育状況 (穂揃期、5/15 田植)

	草丈 (cm)	穂数		葉令	葉色	出穂期
		本/株	本/m ²			
令和2年	93.5	17.0	375	14.2	4.4	8/4
令和元年	91.0	16.8	379	13.5	4.4	8/2
生育の目安	90.0	18.9	400	-	4.4	8/3

※アルプス農協管内の2圃場のデータ

1 刈取りまでの水管理

【水管理のポイント】

○稲体の活力を維持し、胴割米の発生を防ぐため、刈取りの5～7日前までは **間断かん水** を行いましょう。

- ・登熟期間は、胴割米の発生を防止するためにも稲体の活力維持が重要です。刈取り5～7日前までは、登熟に必要な水分を十分確保できるよう **間断かん水** を徹底しましょう。
- ・フェーンなど高温が予想される場合は事前に入水し、急な枯上りを防ぎましょう。



2 適期刈取りの実施

【刈取りのポイント】

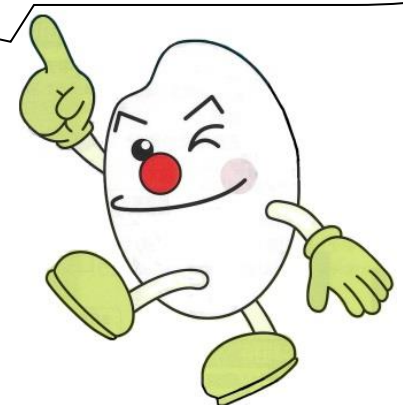
○胴割米の発生を防止するため、**籾黄化率 80%** (出穂後の積算気温 1,050℃) を目安に刈取りを開始し、籾黄化率 90%には刈り終えましょう。

「富富富」は「コシヒカリ」に比べて、籾の黄化にばらつきがあり、黄化が遅くなる傾向がみられますが、「コシヒカリ」と同等以上に胴割米が発生しやすいので、刈り遅れないように注意しましょう。

【富富富の出穂期別刈取時期の目安、富山地方気象台】

出穂期	刈取開始時期 (籾黄化率 80%)
8月2日	9月10日頃
8月4日	9月12日頃
8月6日	9月15日頃

必ず籾黄化率を確認して、遅れず刈取作業を開始してね！



○圃場の場所や田植時期等によって刈取適期は変わります。

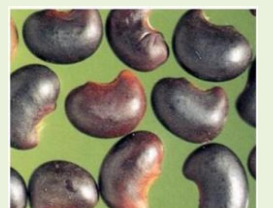
各地区に設置される **刈取適期表示札** を参考に刈取時期をきめましょう。

○砂壤土や枯上がりの早い圃場から刈始め、**刈遅れによる胴割米の発生**を防ぎましょう。

○登熟期間の気象条件に応じて、適期内に作業が完了するよう、**計画的に刈取りを進め**ましょう。

【刈取作業の留意点】

- ①異品種が混入しないよう、**コンバインの清掃**を徹底しましょう。
- ②クサネム等の雑草の種子は選別が困難なので、収穫前にあらかじめ抜いておきましょう。
- ③刈取りは、籾が乾いてから開始しましょう。
- ④ヤケ米発生防止のため、**収穫後4時間以内**に乾燥機に入れ送風しましょう。



3 適切な乾燥調製

【乾燥調製のポイント】

- 毎時乾減率0.8%以下でゆっくりと乾燥し、**玄米水分14.5~15.0%**に仕上げましょう。
- 1.9mmのふるい目による選別を徹底し、未熟粒の混入を防ぎましょう。

- 乾燥調製作業に使用する機械・ラインは、品種が切り替わるごとに清掃を徹底し、残留粃を完全に除去して下さい。
- 玄米水分が**14.5~15.0%**になるよう乾燥作業を行いましょう。

- ①水分ムラを小さくするため、2~3時間の通風乾燥を行う。
- ②送風温度を機種標準より下げ、ゆっくり乾燥する。
- ③粃水分17%程度で一度乾燥を止め、半日程度休止した後に再乾燥する。
- ④粃水分が17%以下になったら、手動水分計でこまめに水分をチェックする。
- ⑤青米の混入状況に応じた乾燥機停止時の玄米水分で乾燥機を停止する。

「富富富」は青未熟粒が混入しやすい品種です。水分ムラによる胴割れ米の発生を防ぐため、乾燥作業は慎重に行ってください！



【乾燥機停止水分の目安】

玄米 100 粒中の青米粒数	乾燥機停止時の玄米水分	乾燥機停止後の水分変化
5粒以下	15.0~15.5%	乾く(-0.5%)
6~10粒	14.5~15.0%	変化なし
11粒以上	14.0~14.5%	もどる(+0.5%)



今年は高温下での登熟で、胴割れしやすくなっています！

胴割れ要注意！

- 調製作業前に粃摺機等の点検を行うとともに、清掃を徹底し、異品種・異物の混入を防止しましょう。

- ①ゴムロールが劣化や減耗している場合は交換する。
- ②脱ぶ率が80~85%になるようゴムロールの間隙を調整する。
- ③粃摺部へ脱ぶした玄米が再度入らないように、選別部を調整する。
- ④ふるい目は1.9mmを使用し、適正な流量で屑米等を確実に除去する。



- 米袋、フレコンは、品種ごとに明確に区分して保管・出荷しましょう。

粃水分や穀温の確認を！
(肌ずれ米の発生防止)

4 栽培要件の再確認

【成分使用回数の確認】

- 現在までの化学合成農薬の使用状況を書き出し、基準内となっているか必ず確認しましょう。

「富富富」には栽培要件として「化学合成農薬の成分使用回数:12以内」という要件があり、この栽培条件を満たさない場合は、「富富富」として、消費者に販売することができません。

「富富富」通信第2号裏面に記載のJAアルプス取扱い農薬一覧の成分数を参考にして、現在まで使用した化学合成農薬の成分使用回数が基準内となっているかどうか、今一度確認しましょう。

**※不明な点があれば、各営農経済センター
又は農林振興センターまでご相談下さい。**

区分	農薬名	成分数
育苗関係		
苗箱施薬剤		
除草剤		
本田防除		
合計		

※紋枯病防除にバリダシン粉剤DL、バリダシン液剤を使用した場合、成分数のカウントは不要です。

秋の農作業安全運動実施中(8/20~10/20) コンバイン使用中の巻き込まれ事故に注意